

## 2008 takuma-gpCUPポケバイ & ミニバイク選手権シリーズ規則書

### 1) 競技会の名称 及び 開催コース、開催日程

takuma-gpCUP ポケバイ&ミニバイク選手権シリーズ

開催日程	開催サーキット
第1戦 4月20日	明智ヒルトップサーキット
第2戦 4月29日	筑波サーキットコース1000
第3戦 6月1日	茂原ツインサーキット
第4戦 8月24日	明智ヒルトップサーキット
第5戦 9月15日	筑波サーキットコース1000
第6戦 10月9日	明智ヒルトップサーキット
第7戦 10月16日	橘川スポーツランド

年間7回に渡って行なわれる「年間シリーズ戦」ラウンド毎の取得ポイントの合計により、EXエキスパートクラスの年間ランキングを決定します。「明智ヒルトップサーキット、筑波サーキットコース1000、橘川スポーツランド、茂原ツインサーキット」において、全7戦を予定しております。シリーズ戦と言っても、全戦参加しなくてもかまいません。また、ランキング対象外のクラスや、レースを体験してみたいという方のためのクラスもあります。

### 2)選手権シリーズ 参加資格

- 参加資格は6才以上とします。
- レース参加にあたり、家族その配偶者、未婚者は親権者又は親族)の了承を得ていることを条件とします。
- 本規則書を全て理解、了承し、フラッグの意味を熟知していることを条件とします。
- 満20才未満の方は、保護者の直筆署名、捺印が必要です。満16才未満の方は、上記に加え、保護者の同伴が必要です。またこの場合、保護者が責任を持って指導することを条件とします。

### 3)選手権シリーズ 参加料金

クラスエントリー料金＋保険料＝参加料
SP12 NSF100 8,000円(税込)＋500円＝8,500円
ポケバイ Dajiro 6,000円(税込)＋500円＝6,500円

Wエントリーの場合、2クラス目の保険料は不要です。

【例】SP12とNSF100のWエントリー…

8,000円＋8,000円＋500円＝16,500円

レン耐とSP12のWエントリー…

レン耐参加費＋8,000円＋500円(1名)＝レン耐参加費＋8,500円

以下のレースは混走になる可能性がある為Wエントリーは出来ません。

- ポケバイノーマルFとポケバイノーマルEX / NSF100FとNSF100EXクラス

※混走の場合は別表彰となる。

・2クラス合計して4台以上のエントリーがあれば、レースを開催します。但しクラス別出走台数が1台の場合は、そのクラスの賞典はありません。

#### 4)参加クラス

SP12、NSF100 予選タイムアタック8分以上 決勝12周

ポケバイ、Dajiroクラス 予選タイムアタック8分以上 決勝8周

クラス名	ランキング対象	参加対象	参加対象車両
ポケバイノーマルF (フレッシュマン)		初心者	ライフNクラス に準ずる
ポケバイノーマルEX (エキスパート)	◎	ライフカップに参加 主催者が認める者	ライフGP3クラスに準ずる
ポケバイOPEN	◎	ライフカップに参加 主催者が認めた者	ライフGP1クラスに準ずる
DAIJIRO	◎	特に無し	74DAIJIRO車両
SP12F (フレッシュマン)		初心者 ※タイム基準あり	12インチ 17インチ 車両は限定なし
SP12EX (エキスパート)	◎	レースに参加している者 主催者が認めた者	12インチ マフラー 改造車
NSF100 (フレッシュマン)		初心者	NSF100
NSF100EX (エキスパート)	◎	レースに参加している者 主催者が認めた者	NSF100

#### \*Fクラス(フレッシュマン)の解説 ターゲットタイムの設定

筑波コース1000 ラップタイムがドライで43秒0まで(42秒9に届かない方)

明智ヒルトップ ラップタイムがドライで46秒まで(45秒9に届かない方)

茂原ツインサーキット西 ラップタイムが38秒まで(37秒9に届かない方)

橘川スポーツランド(新コース) ラップタイムが47秒まで(46秒9に届かない方)

予選及び決勝中、ターゲットタイムを上回るラップタイムを記録した方はレース続行が可能です。賞典外となります。強制昇格などはありません。何度でもご参加いただけます。

※ポケバイフレッシュマンは、ターゲットタイムは設けていません。何度でも参加が出来ます。

#### 4)定員 グリッド

決勝グリッド：予選タイムアタックにより決定。

1クラス25台(予選定数はこの限りではありません。参加台数により、他クラスと混走、別表彰となる場合があります)

#### 5)申込方法

エントリー方法は、以下の2つの方法があります

- 現金書留(普通郵便は不可)の場合。申込用紙と参加料を郵送
- 銀行振込の場合。申込書をHPからダウンロードして用紙に記入して、銀行振込書(コピー)を添えて郵送。

#### 6)申込時の注意点

- NSF100、ポケバイノーマルF/EX間のWエントリーはできません。
- 申込用紙誓約書に捺印なき場合は、返送いたします。
- 参加料不足の申込は受け付けできません。
- 郵送による申込は、申込期間の開始日、締切日とも消印を厳守してください。
- 電話、ファックスによる申込はできません。
- 締切日消印を過ぎてからの申し込み(定員に満たない場合のみ受け付けます)は当日エントリーとなり、＋3,000円が加算されます。
- 申込が受理されると、開催3日前までに参加受理書が発行されます。

#### 9)参加申込後のキャンセル

参加申込後にキャンセルする場合、必ず事務局に電話連絡をください(土日祝日は定休日)

キャンセル料 開催日の7日前～当日：繰越し及び返金は不可

#### 10)申込後のライダー変更、追加

- 事前変更 開催3日前までに事務局へ電話にてご連絡ください。この日以降は当日変更とみなされます。当日のライダー変更追加には印鑑が必要となります。当日変更追加手数料：1人/2,000円(保険未加入者は、+500円)
- 当日変更

#### 11)シリーズポイント制度

ポイント	20台～	15～19台	10～14台	5～9台	2～4台
1	20	20	20	15	6
2	17	17	17	11	
3	15	15	15	8	
4	13	13	13		
5	10	10	10		
6	8	8	8		
7	6	6			
8	4	4			
9	2				
10	1				

#### 12)シリーズ戦 ランキング決定基準

最終戦終了時で同ポイントの場合、以下の優先順位で決定します。

- 最終戦の上位入賞者をランキング上位とする
- ①で決定できない場合は上位順位獲得回数によって決定する。決定された各クラスのライダーは、最終戦ランキング表彰式において表彰します。

#### 13)シリーズ戦 固定ゼッケン

SP12EX、NSF100EX ポケバイノーマルEX OPENの各クラスは、08年のランキングに基づき09年ゼッケンを決定します。

#### 14)シリーズ戦 賞典

賞典は出場台数により、以下の通り正賞、副賞を授与します。

フレッシュマンクラスは、3位までとなります。

5台未満の場合、競技不成立として開催しない場合がある。

EXクラス OPENクラス

2台～4台	5台～7台	8台～15台	16台以上
1位まで	2位まで	3位まで	6位まで

### 第1章総則

#### 第1項主催者の権限と参加者義務

##### 1.主催者および申し込み先

\*takuma-gp事務局 takuma-gpCUP係り

〒112-0002 東京都文京区小石川2-25-10-1F

##### 2.主催者の権限

- 主催者は、運営に関する全ての権限を有する
- 主催者は、申込者に対して理由を明かすことなくその参加を拒否することが出来る。また、大会秩序を乱す行為を行った者に対しては、開催当日参加を拒否することが出来る。
- 主催者は、全ての参加者、同行者の肖像権およびその参加車両の音声、写真、映像等を、出版、放映(電子メディア含む)する権限を有し、これらを無断で使用、販売をすることを禁ずる。
- 主催者は、当日、施設内での物品販売に関する権限を有し、第三者が無断で物品販売をすることを禁じる(施設常設販売物は除く)。

##### 3.参加者の義務

- 参加者は本競技規則を遵守することはもとより、公式通知により指示された内容についても、遵守することを義務づける。
- 参加ライダーは競技中アルコール、興奮剤を摂取してはならない。
- 参加者は、主催者、大会関係者に対して暴言を吐いてはならず、自己のチーム関係者の言動についても責任を持つこと。

##### 4.参加者の不正行為による代理人の出走

- 競技へは、登録者のみの参加を認める。
- 不正な行為等により、登録者以外を走行させた場合、関係者及び本人は、主催者と参加者間の信頼関係を著しく失墜させた責任として、参加料の倍額を納めること。この費用は、他の大会参加者に対する説明費用の一部に充てられる。
- 不正走行した者に対して見舞金制度は適用しない。

##### 5.ピットクルーの責任

- ピットクルーは、各自が安全に対する責任意識を持つこと。
- ピットクルーは、競技中及び練習走行中、コース内に立ち入ってはならない。競技役員の指示に従わず、コース内に立ち込んだ場合、該当チームを失格とする。
- シリーズ戦のピットクルー見舞金制度加入は任意となりますので、各自でレース当日申し込んでください。見舞金制度に加入していない場合、死亡、負傷の補償対象になりません。主催者は一切の責任を負いません。

##### 6.違反行為に対する罰則

\*大会中の違反行為に対しては、競技長の権限で下記の罰則(以下、ペナルティと記す)を課すことができる。また、ペナルティに関しての抗議は、一切受け付けない。

- 警告
- 順位、タイムの加算、週回数、減算、ストップアンドゴー、成績に対する罰則
- 失格
- 次戦出場停止

ライダーまたはその関係者による競技役員に対しての暴力的な言動及び行動に対しては失格のペナルティが課せられる。

##### 7.抗議

- 抗議ができる権限を持っているのはライダーのみであり、他者からの抗議は一切受け付けない。抗議する場合はいかなる内容も文章によって申し立てし、抗議対象事実発生後30分以内に抗議保証金10,000円を添えて提出すること。なお、この保証金は、抗議成立の場合にのみ返還し。抗議不成立の場合は返還されない。
- 主催者の裁定の内容は、当該者への通達時に説明する。運営上、説明を始める前に時間を定めて行われ、最大10分とする。
- 正式抗議に対して下された裁定に対しては、一切抗議することはできない。

##### 8.大会中止の場合

- 雨天の場合においても、レースは開催する。コース使用不可能等の理由で大会中止の場合は、当日、現地にて決定する。
- 上記のような理由により大会を中止する場合、参加料全額を、後日返金するが、前記金額以上の補償はしない。

##### 9.本競技規則の解釈

\*競技規則の解釈及び判断に混乱が生じた場合、本競技規則およびMFJ国内競技規則に基づいた大会本部の解釈を最終決定とする。

##### 10.公式通知の発行

\*本規則に記載されていない細則、本規則発表後に生じた問題を解決するため、公式通知をも

って指示することができる。公式通知はいずれかの方法で発表される。

- 参加者の住所に郵送
- 受付で印刷物を配布
- 大会会場、掲示板に掲示
- ブリーフィングで指示
- 緊急の場合は場内放送で指示

### 第2項損害補償

#### 1.損害の補償

- 1) ライダー及びピットクルーの死亡、負傷、車両の破損等その損害責任は各自が負うこと。
- 2) 主催者及び競技役員はその職務に最善を尽くすが、大会中に生じた、ライダー、ピットクルー及び競技車両の損害に対して、一切の損害補償責任はないものとする。また、このことを参加者及びその家族が理解、承諾していること。

## 第2章競技規則（競技のルール）

### 第1項競技基本細則

#### 1.ライダー装備

- 1) レーシングスーツ、ブーツ、グローブは革製品とし、MFJ公認の1ピースが望ましい。
- 2) ヘルメットはMFJ公認のロードレース用フルフェイスとする。著しく損傷、劣化しているものは使用不可とする。

- 3) 必ず、別体式の脊椎パッド（ツナギ内臓は不可）を装着すること。

#### 2.選手受付、フリーフィンク

- 1) 当日、参加受領書を持って選手受付を行う。
- 2) 健康保険証（コピー可）を必ず持参すること。
- 3) フリーフィンクには、必ずライダー本人が出席すること。

#### 3.計測装置

- 1) 自動計測装置本体、取り付けルダを破損、紛失、加工された場合、下記限度額の範囲内で参加者の弁償責任となり、施設に対してお支払いいただきます。¥50,000（税込）脱落などないよう、車両への装着は十分ご注意ください。
- 2) 全てのコースにおいては自動計測の予定ですが、不測の事態により、計測器が使用不能となった場合は自己申告となります。耐久参加者は、ポールペン、バインダー、ストップウォッチ、時計などを必ず準備してください。

#### 4.グリッド

スプリントの決勝グリッドは、タイムアタック予選によって決定する。

#### 5.スプリント スタート

決勝レーススタートの合図はレッドライト点灯後それを消灯した時点とする。

#### 6.ジャンプスタート（フライング）

- 1) コース上から赤旗が退去した後、スタート合図の前に前進した場合、ジャンプスタートとなる。
- 2) 当該ライダーにストップアンドゴーもしくは30秒加算のペナルティを課す。

#### 7.周回計測

自己周回チェック用への未記入等の計測不備は自己責任とし、競技結果についての抗議は、一切受け付けない。

#### 第2項安全確保とペナルティ

##### 1.遵守事項

競技中は、いかなる場合でも逆走してはならない。コース上でエンジントラブル、事故などで停止した場合、ライダーは速やかにその車両をレース妨害とならない場所に移動し、安全確保に努めること。ヘルメットは、コース内で脱いではならない。

##### 2.ショートカット通路の使用

- 1) シリーズ戦スプリントの予選中は、故意にショートカット通路を通過してはならない。違反した場合、ペストラップに1秒加算し、そのタイムを予選タイムとみなすペナルティを課す。
- 2) スプリント決勝レース中のショートカット通路を通過してのレース復帰は認めない。リタイアと見なす。レース復帰は係員の指示に従って復帰すること。
- 3) 当該ライダーが有利となるショートカット（コーナーのコース外を走行）は予選時は当該ラップタイムの抹消、決勝時はレース結果に30秒以上加算のペナルティを課す。

##### 3.競技役員の指示及びフラッグ無視

レース中、競技役員の指示、注意を受けた場合、各ライダーは必ず従うことフラッグの指示に従わない場合は、下記ペナルティを課す。

- a)警告
- b)順位、タイムの加算、周回数の減算、ストップアンドゴーなど、成績に対する罰則
- c)失格

##### d)次戦出場停止

黄旗提示区間におけるフラッグ無視には、以下のペナルティを課す

追い越し	●順位の変更（獲得した順位に3ポジション加算） 【例】1位→4位
コースアウト または転倒	●タイムの加算もしくは周回数の減算 予選時：ベストタイムに1秒加算 決勝：周回数を1周以上減算
事故	●失格及び次戦出場停止

##### 4.競技の終了

- 1) 協議の終了は、チェッカーフラッグを提示し、チェッカーを受けていない周回遅れの車両を抜いてはならない。
- 2) 所定の周回数の前にチェッカーフラッグが出された場合、その時点で競技は終了とする。チェッカーフラッグが遅れた場合でも、チェッカーフラッグが出された時点で終了とする。
- 3) 競技終了の合図に混乱が生じた場合、最終判断は主催者が決定する。

##### 5.レース放棄

- 1) レース中、バドックに進入した車両はレースを放棄したものと見なし、再度コース復帰は

認めない（例外あり）

##### 6.妨害行為及び危険行為

- 1) 妨害行為及び、危険行為判定に対する抗議は、一切認めない。違反者に対してはペナルティが課され、走行が適当でない競技長が判断したライダーは失格とする。
- 2) ストレートを始めとする直線部分での、蛇行、幅寄せ等を禁止する。

##### 7.ピット及びピットエリアの使用

- 1) ピットは、主催者側の指定したピットを使用すること。
- 2) スプリントクラスはピットの割り当てはございません。
- 3) ピット前以外での、部品交換、修理、燃料補給、ライダー交代は認めない。
- 4) サインエリアでの、部品や工具の常設を禁止する。
- 5) ピットロードでのサイン提示を禁止する。
- 6) ピット内及びピットエリアは、火気厳禁、禁煙とし、サインエリア立入の際、サンダル、上半身裸身は禁止する。

##### 8.ピットロードでの禁止事項

- 1) ピットロード上での作業、ライダー交代は禁止する。
- 2) ピットロード及びピットエリアの逆走を禁止する。違反した場合、2周減算のペナルティを課す。
- 3) ピットロードでの追い越しは禁止し、ピットインしてくる車両に優先権があるものとする。

##### 9.ピットアウト

- 1) ピットロード出口の信号が赤の場合、コースインしてはならない。
- 2) コース復帰するライダーは、コースイン直後にレーシングラインを走行してはならない。第1コーナー出口までライン上を走行した後方から来る車両の走行を妨げてはならない。

##### 10.ピットイン

- 1) ピットインするライダーは、必ず手または足を出して合図をし、安全を確認してピットロードに進入、徐行すること。
- 2) ピットインの際、ピットロード入り口直前で急激にコースを横切りピットインしてはならない。あらかじめ、コース上のピットロード入口側を走行すること。

##### 第4項競技中の車両修理とマシントラブル時の取り扱い

###### 1.競技中の車両修理

- 1) スプリントクラスは予選、決勝を通じて同一車両を使用すること。予選終了後にクランクケース本体を交換した場合、元の部品と併せてオフィシャルに提示し、マーキングを受けること。
- 2) 競技中、他車両に乗り換えた場合、ゼッケンを読めない車両は失格とする。

###### 2.コース上でのマシントラブル

- 1) 転倒、マシントラブルにより、自走ではビットに戻れない場合、ポスト員の指示に従い、待機してください。
- 2) マシンを押して歩いてのコース横断を禁止する。ただし、フルコースコーション中にオフィシャル同伴の元、コース横断を許可する場合がある。

##### 第5項レース中の重大アクシデント

###### 1.フルコースコーション（ベースカーの介入＝競技の一時中立化）

- 1) 走行車両の切れ間がなく転倒車両の処理が難しい場合、ベースカーの介入、先導により、レースを一時非競技化する。その間に事故処理を行う。
- 2) ベースカーは、トップのライダーの位置に関係なくコースインする。
- 3) ベースカー介入時には、ベースカーを先頭に1列に整列し、走行すること。その際、お互いに追い越しすることなく、順位を保つこと。全車両の横に並ぶことは禁止する。
- 4) ベースカー介入中のピットインは可能とする。ただし、ピットアウトする際は、競技役員の指示の下、隊列の最後尾に復帰しなければならない。そのため、ピット出口を競技役員によってコントロールする。
- 5) ベースカーがコース上から退去した後も、緑旗が提示される地点（コントロールライン）を通過するまでは、追い越し禁止とする。それぞれのライダーがコントロールライン通過後、各自レース再開となる。
- 6) フルコースコーション中の走行ラップも、周回数としてカウントする。

###### 2.全面停止時の競技成立

\*やむを得ない事情によりレースの続行が危険と判断された場合、競技長は走行中の全競技車両に対してレースを中断、又は中止することができる。全面停止の命令は、赤旗提示によって指示する。その場合の競技の成立について、以下に定める。

- 1) 全面停止時点で規定周回の2/3未満の場合、そのレースは不成立とし、再スタートとする（周回数の短縮あり）。その際、赤旗を提示した周りにリタイアした者の再スタートは認めるが、提示する前の周までリタイアした者の再スタートは不可とする。
- 2) 全面停止時点で規定周回の2/3以上を消化していた場合は、競技成立と見なす。その際のレース結果は、全面停止の原因となる事故等が発生する直前の周回のものとし、その判断は競技長が行う。
- 3) 赤旗が提示された際は、全てのライダーはスローダウンしてピットロードに戻り、ピットエリア内にて待機、支持を待つこと。ピット内及びバドックには戻らないこと。
- 4) 競技が短縮された場合でも、参加料の返金はしない。

本規則書の記事転用、  
コピーの無断使用を禁じます。

お問い合わせ先

takuma-gp事務局

112-0002  
東京都文京区小石川2-25-10-1F  
電話 050-3616-5386  
ファックス 03-5805-7233